

学習内容報告書_宿毛市立 片島中学校 1

学校名	宿毛市立片島中学校
授業者	西岡啓祐 杉崎匡哉 下村忠久 濱田洋子 横山芳子

1. 単元計画

1-1. 単元名

海の学習～自分たちの地域の海を知ろう～

1-2. 学年

1年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間 家庭科

1-4. 単元の概要

・「身近な地域を知ろう」という1年生の総合的な学習の時間の取り組みの中で、宿毛市は海と切り離せない環境がある。宿毛市の豊かな自然環境や産業等について調べ、海の自然環境について興味関心をもつ。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

学校の所在地は、宿毛湾に面した海の玄関口である。本来宿毛湾は豊かな漁場であり、観光として見てみてもマリレジャーを始め、釣りのメッカとしても全国にも名を馳せている。しかし、最近の情勢によって海に関係する職業人口が減少していて、子どもたちの保護者等にもその影響は現れている。海に囲まれて生活している片島の子どもたちであるが、離島である沖の島や鶴来島へ行ったことや、多様な海の生物が生存する宿毛湾の自然環境について知っている子どもたちは少ない。卒業して将来、故郷の自然環境の素晴らしさを誇りに思い、堂々と故郷のことが語れる子どもたちを育成するため。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

(1)宿毛市の自然環境について関心を持ち、意欲的に調べることができる。
(2)探究的な学習を通して、宿毛市の自然環境について知り、その特色や考えを言葉や文章で表現できる。

1-7. 単元の展開（全11時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	宿毛市の自然環境について、興味あること、調べたいことを決める。	・興味関心のあることから、グループで、調べる内容を決める。
3	宿毛市の自然について調べよう。	・図書館資料や、インターネット、パンフレット、聞き取りなどを行い必要な情報や資料を集め、整理させる。
4	宿毛湾でとれる魚料理をしよう (家庭科)	・衛生、安全に気を付けて実習するよう指導する。 ・手順を把握し、楽しんで調理する。 外部連携/宿毛市漁港
3	まとめ・振り返り	・調べて感じたこと、学んだことを新聞にまとめさせる。 (文化祭で発表・展示させる)

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

2-2. 本時の目標

宿毛市の自然環境（海）について関心を持ち、意欲的に調べようとする
故郷の周りの海の生物、自然環境について知る。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
(1) 調べ学習を行う	・図書館資料や、インターネット、パンフレット、聞き取りなどを行い必要な情報や資料を集め、整理させる。

3. 今回の活動の自己評価

我が故郷、宿毛市の自然について、自ら課題を見つけ調べ学習を行うことで、身近な里海とし宿毛湾の魅力を再発見することができた。

4. 今後の課題

この海洋教育パイオニアスクールプログラム（単元開発部門）の指定は、今年度で終わってしまう。今後、予算化の難しい学習内容についてはそれに代わるものを考え、これまでの取組をどう継承していくかなど内容整理し、海とは切り離せない自分たちの住んでいる故郷と人との共生など、地域や学校の特色を生かした総合的な学習の時間のカリキュラムマネジメントが課題である。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし